



未来をひらく

北九州市立「学びの多様化学校」について

北九州市では、「学びの多様化学校※（中学校）」の令和9年4月開校を目指し、準備を進めています。

この学校では、「在籍校には通えないが『学校で学びたい』と願っている不登校・不登校傾向の子どもたち」の居場所や学びの場の選択肢を増やすとともに、自分のペースで学んだり、人と関わりながら学んだりして、将来につながる力を育むことを目指します。

学校は市立教育センター内（八幡西区相生町）に設置予定で、各学年の教室の他に、相談スペースやリラックススペース、軽運動ができるスペースなど、子どもたちの状態やニーズに対応できる環境を整えます。

※「**学びの多様化学校**」…不登校児童生徒の実態に配慮した特別的教育課程を編成して教育を実施する文部科学省指定の学校です。



教室(イメージ)



図書室・リラックスルーム(イメージ)

学校コンセプト

“自分らしさ”がふくらみ、ともに花ひらく学校

生徒一人ひとりの個性や意思が尊重され、安心感のある学校生活を送ることができる、友達や先生など、他者とかかわることの喜びや価値を改めて感じながら、前向きに自分の将来を思い描いたり、社会的自立に資する学力やコミュニケーション能力、協働性や社会性等を育んだりすることができる——そんな学校を目指して、本コンセプトを定めました。

●1日の学校生活の流れのイメージ

時 間	活動内容等
8:30~9:30	登校
9:30~9:40	朝の会・朝の活動
9:40~10:30	1校時
10:40~11:30	2校時
11:40~12:00	My Time (仮称)
12:10~13:00	3校時
13:00~13:50	給食・昼休み
13:50~14:40	4校時
14:40~14:50	帰りの会
14:50~16:00	下校・放課後(任意)

生徒の実態や通学に要する時間等を踏まえ、他の市立中学校より登校時間を繰り下げるとともに、1日4時間の時間割を基本とします。

1人1台のGIGA端末を活用し、生徒の習熟度や興味・関心等に応じて学ぶ内容、方法、場所等を選択・決定して自分のペースで学びます。

他の市立中学校と同様に給食を実施します。ただし、生徒の実態に応じて量の調節や弁当の持参もできるようにします。

15時前に下校予定です。放課後は個別に学習したり、友達や先生と談笑したりして過ごしてもよいです。最終的な下校時刻は16時とします。

※上表はイメージです。今後、変更する可能性があります。



全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が公表されました

対象児童生徒

- 小学校・特別支援学校小学部 第5学年
- 中学校・特別支援学校中学部 第2学年

※ ○…全国平均に比べて高い、▲…全国平均に比べて低い

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ(小) ハンドボール投げ(中)	体力 合計点
小5 男子	○	○	○	○	△	○	▲	○	○	○
小5 女子	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
中2 男子	○	▲	○	○	▲	○	○	○	▲	○
中2 女子	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○

※ 中学校は持久走(男子1500m、女子1000m)と20mシャトルランのどちらかを選択して実施

小学校

- 体力合計点において、男女ともに、全国平均を上回りました。
- 8項目中、男子は7項目、女子は全項目で全国平均を上回りました。

中学校

- 体力合計点において、男女ともに、全国平均を上回りました。
- 9項目中、男子は6項目、女子は8項目で、全国平均を上回りました。



質問調査結果

Q 運動やスポーツは好きですか。

⇒ 「好き」と回答した割合は、
小・中学校男女ともに全国平均を上回っています。

Q 体育・保健体育の授業は楽しいですか。

⇒ 「楽しい」と回答した割合は、
小・中学校男女ともに全国平均を上回っています。

一方で、以下の生活習慣に関する項目については、課題が明らかになりました。

Q 朝食は毎日食べますか。

⇒ 「毎日食べる」と回答した割合は、
小・中学校男女ともに全国平均を下回っています。

Q 毎日どのくらい寝ていますか。

⇒ 「8時間以上」と回答した割合は、
小・中学校男女ともに全国平均を下回っています。

Q 平日、学習以外で、1日にどのくらいテレビやゲーム機、スマートフォンなどの画面を見ていますか(スクリーンタイム)。

⇒ 「2時間以上」と回答した割合は、小学校男女・中学校女子ともに全国平均を上回っています。
中学校男子は全国平均を下回っています。

全国的な傾向及びスポーツ庁の見解

児童生徒の体力について

- 体力合計点は、小中学校男女ともに前年度から向上しているが、中学校男子を除いて、コロナ禍以前の水準に至っていない。
- 運動やスポーツに対する意識については、男子では上昇傾向にあるが、女子では横ばいとなっている。

運動習慣・生活習慣について

- 小学校男女と中学校男子の5人に1人、中学校女子の4人に1人が朝食を欠食する状況にある。
- スクリーンタイムはコロナ禍以前と比較すると小中学校ともに増加している状況にある。
- 運動習慣と生活習慣は互いに関連し合っている。児童生徒が調和のとれた生活の大切さを実感できるよう学校・家庭での継続的な支援が求められる。

スポーツ庁の動画リンク

「子供の体力向上企画」Vol.2



https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1371915_00001.htm

本市においても全国平均を上回っている種目等もありますが、コロナ禍以前と比べて全体的に体力が低下しています。今後も各学校において、体力向上の取組を進めるとともに、「楽しい体育・保健体育の授業」を実践していきます。

各家庭におかれましても、生活習慣の改善や運動の習慣化へのご協力をお願いいたします。

小倉北特別支援学校・北九州中央高等学園の落成記念式典を開催！

小倉北特別支援学校と北九州中央高等学園の新校舎が完成しました。

知的障害のある児童生徒が通う特別支援学校が同じ場所に2校併設されるのは、福岡県で初めてのことです。

渡り廊下でつながる新校舎は、2つの学校が密接に連携し、子どもたちの未来をひらく新たな教育拠点となります。

落成記念式典

実施日 令和7年11月20日(木) 14:30～15:15

実施場所 北九州市小倉北区下道津一丁目10-7

新校舎の完成を記念し、落成記念式典を開催しました。

これまで支えてくださった多くの皆様、そして両校の代表生徒たち総勢120名にご参加いただき、盛大な拍手と笑顔に包まれ、希望に満ちたスタートを切ることができました。

今後は、2校併設の利点を最大限に活かし、児童生徒の交流促進・教員の専門性強化・地域との連携深化を図り、開かれた学校として、地域全体で子どもたちの成長を支える拠点となるよう、新しい取り組みにも力を入れていきます。



利用開始

小倉北特別支援学校 令和8年1月
北九州中央高等学園 令和8年4月

令和7年度 杉浦奨学生の決定

芸術・文化、学術、スポーツの各分野で優れた成績を残し、将来の北九州市の文化振興等の担い手となる人材を育成するため、北九州市文化振興基金を活用して、修学資金の一部が給付される「杉浦奨学生」に、令和7年度は6名の方が決定しました。

過去の奨学生の中には、オリンピック代表など輝かしい実績を挙げている方が多数おり、杉浦奨学生の更なる活躍が期待されます。

● 令和7年度 杉浦奨学生



氏 名	部 門		学 校
石坂 あかり	芸術文化	美術	福岡県立八幡中央高等学校
岐部 桜	スポーツ	女子サッカー	東海大学付属福岡高等学校
巢山 珈音	芸術文化	書道	福岡県立直方高等学校
床田 隼都	スポーツ	硬式テニス	柳川高等学校
中尾 翌絵	芸術文化	フルート	福岡県立小倉高等学校
矢野 成竜	学術	大学院での研究(化学)	九州大学大学院

杉浦奨学金については、https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kurashi/menu01_00254.htmlをご参照ください。

第3回 スー1★GP(グランプリ)を開催しました!

市内の中学生が3人一組で数学的思考力を競い合う「第3回 スー1★GP」を開催しました。

期 間 令和8年1月17日(土)

対象者 市内中学生

参加人数 39チーム(111名)

参加校

●市立中学校	柳西	霧丘	板櫃	南小倉	足立	横代
	守恒	田原	湯川	洞北	高見	花尾
	沖田	熊西	穴生	則松	浅川	高生
●私立中学校	九州国際大学付属	小倉日新館	敬愛			
	明治学園	西南女学院				

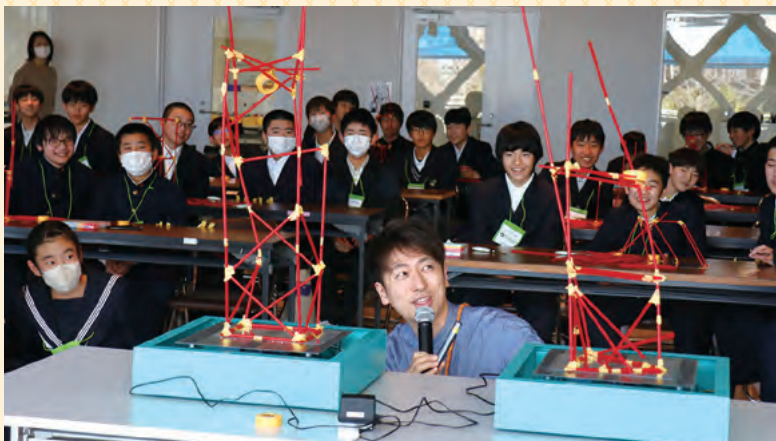
試験部門では、大学の先生方が作成した問題にチームで協力し合って取り組みました。

講演会部門では、4名のゲスト講師(元村有希子氏・増田順氏・五十嵐美樹氏・川村哲也氏)に「進路・キャリア選択の重要性」や「失敗をワクワクに変える方法」などについて熱く語っていただきました!

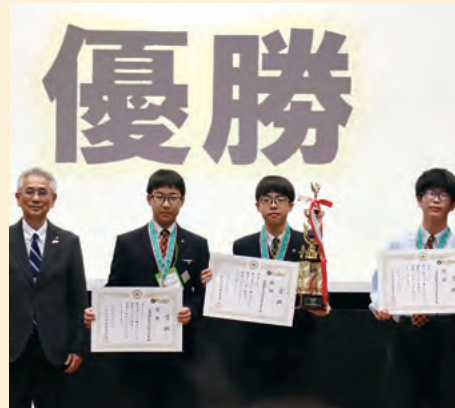
参加者からは「難しい問題に仲間と挑戦することが楽しかった!」「来年も参加したい!」などの声が多数寄せられました。



試験の様子



タワー建築のワークショップ



優勝 九州国際大学付属中学校B



講話の様子



「失敗とは?」を考えるワークショップ

北九州市のHP(下記QRコード)に、
当日の試験問題を
掲載しております
ので、ぜひ
チャレンジして
みてください!



令和7年度 学校の輝く活躍をご紹介！ ～表彰実績にみる教育の力～

北九州市教育委員会では、子どもたちが未来をひらくための多様な学びを応援しています。各学校では、子どもたちの探究心や創造性を育むため、地域と連携しながらユニークな教育活動や特色ある取り組みを日々進めています。

このたび、令和7年度の終わりを迎えるにあたり、様々な外部団体から、その素晴らしい活動や成果を表彰された学校を、ここに紹介させていただきます！

残念ながら紙面の都合上、全国表彰に限らせていただきます。子どもたちの頑張りや先生方の熱意が詰まった取り組みをぜひご覧ください。

令和7年度 表彰歴

ソニー子ども科学教育プログラム2025年度教育実践論文 公益財団法人 ソニー教育財団

子どもたちの理科・科学への興味・関心を高め、科学的な探究心を育むことを目的として、幼児教育、理科教育、科学教育に関する研究・実践論文を募集し、優れた論文を表彰しています。

●優秀校 大積小学校 ●奨励校 藤松小学校 門司中央小学校

https://www.sony-ef.or.jp/program/result_school.html



内外教育 時事通信社

創造性に富んだ特色ある教育の実践に顕著な業績を挙げた学校（幼稚園、小、中、高等学校、特別支援学校など）を表彰し、学校教育の一層の充実を図ることを目的としています。

●教育奨励賞 小森江小学校

<https://edu-naigai.jiji.com/article/2788>



第12回全国小学校ラジオ体操コンクール かんぽ生命

全国の小学生を対象とする、ラジオ体操を通じて児童の健全育成を応援するコンクール！正しくラジオ体操ができているかという基準だけでなく、日頃の取り組みや元気に楽しく体操ができているかという視点も考慮し、審査を行っています。

●技術部門 ルーキー賞 沼小学校

<https://www.jp-life.japanpost.jp/radio/radi-con/results/2025/>



第16回いっしょに読もう！新聞コンクール 一般社団法人日本新聞協会NIE委員会

家族や友だちといっしょに記事を読み、感想・意見などを書いて記事とともに応募するコンクール。「主体的・対話的で深い学び」を重視する学習指導要領の理念も念頭に置いた企画です。

●学校奨励賞 横代中学校 枝光台中学校 高見中学校 飛幡中学校

https://nie.jp/month/contest_newspaper/2025/



学校給食Instagramで発信中！

毎日の献立のほか、給食のレシピや使用している食材、給食ができるまでの様子など、北九州市の学校給食の魅力がいっぱい！

フォロワー1.3万人突破！

アカウントのフォロー、投稿へのいいね！ぜひよろしくお願いします。



Instagramでの発信が、
『市長賞オブ・ザ・イヤー
2025 グランプリ』

を受賞しました！

